

こんにちは、 コムハウジングです。

今号から全六回にわたって
「中庭のある暮らし」をご提案していきます。



熱い想いと確かな技術で実現する
家族の会話が弾む、寛ぎの住まい。

「私の父が創業してから今年で五〇周年、会社設立からは三六年になります」と語るのは、父が創業した工務店を受け継ぎ、新たな風を吹き込んだ現社長の西村暢啓さん。一〇数年前、大学で建築を学んでいた頃から、「住みたい家は人それぞれに違うはずなのに、なぜ同じような住宅ばかりなのだろう？」という疑問を抱いていたそう。そんな彼が、新たなブランド「コムハウジング」を立ち上げたのは、十二年前のこと。名前には、「本当に寛ぐことのできる快適な住まい(Comfortable)」、家族の会話が自然と弾むような住まい(Communitycation)を提供したい」との想いを込めた。以来、手がけ続ける「オンリーワンの家づくり」の根底には、「住宅はまず「住む人ありき」。住む人が我慢して暮らすのではなく「家を住む人に合わせる」という信念が、確固としてある。そのため、住まいに対する思いや予算はもちろん、ライフスタイル、趣味に至るまで、細大漏らさず話を聞き、「家を建てる人を理解すること」から始める。



代表取締役社長 西村暢啓さん
お客さまのために一番に考えて建てた家を、喜んでいただくことが原動力になっています。

との距離がとて近いのが現状です」。そのため、窓のすぐ側に建つお隣さんや、道路からの視線を気にして、昼間もレースのカーテンを閉めたままの家がほとんどではないだろうか。そんななか、「周囲の環境に左右されることのない寛げる家」をつくる「コムハウジング」による提案が、中庭のある家。中庭を囲んで建物や壁を配置することで、隣家や道路からの視線を遮ることができるという。中庭に面する各部屋の大きな窓から、光と風を存分に取り入れられるのも大きな利点。入居後、南側に新たな建物が建ったとしても、プライバシーや採光を確保でき、「周囲の環境が変わっても影響を受けない住まいを手に入れられるのです」と、賀山真明さん。外からの視線を気にしなくてもよいので、カーテンはむしろ不要。中庭と室内の一体化が、邸内を広く感じさせるといふ視覚的効果も生み

出す。母としての一面も持つ難波智子さんは、こう話す。「子や孫など、幼いお子さまのいる家庭では、遊び場としても重宝します。お母さまが家事で忙しい時間も、子どもが外に出て行く心配がなく、目も行き届く中庭になれば、安心して遊ばせられます。お子さまも、「あれだめ、これだめ」と制約を受けることなく、太陽の下で自由に遊ぶことができます」。

また、中庭とひと口に言っても、スタイルは多種多様。たとえば、子供が走りまわられるようなウッドデッキにしたり、緑を楽しめるよう植栽に凝ったり、ガーデニングを楽しめるよう土の部分を残すことも…。さらに、建築基準法上のメリットもある。屋根のない中庭は、建ぺい率の計算外のため、その分、敷地を一杯まで利用することができるのだ。



一級建築士 難波智子さん
女性の方が家にいる時間は圧倒的に長いので、その目線に立ってご提案しています。

「二〇〇坪、三〇〇坪という広い敷地に家を建てていた昔に比べると、街中に家を建てる場合は隣家

プライバシーと開放感。 双方叶える「中庭」を提案。

を気にしなくてもよいので、カーテンはむしろ不要。中庭と室内の一体化が、邸内を広く感じさせるといふ視覚的効果も生み



一級建築士 賀山真明さん
家とはこういうものという既成概念をなくして、どんな家にしたいのかを教えてください。

感性ある住まい やすらぎの住宅
com HOUSING

岡山市北区十日市中町6-22
☎0120-67-2102 fax.086-223-2103
◆営業/10:00~17:00
◆休/水曜・祝日
※オープン時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。
<http://www.comhousing.com>

